

2021年度 新宿駅周辺防災対策協議会

現地本部運営講習会

(事前説明会)

～新宿ルールと現地本部の運営について～



本日の流れ



10:00～11:00

時間（分）	内容
5	挨拶・目的
5	新宿ルールについて
5	現地本部について
30	現地本部訓練の進め方 現地本部運営マニュアル
10	訓練上の役割決め
5	質疑・応答

現地本部の位置づけと訓練の目的



現地本部とは

大規模災害時には、新宿区は区全体の災害対応を行うため、新宿駅周辺に特化した対応は十分にできないことが想定されます。

そこで、大規模災害時に新宿駅周辺の滞留者による混乱を避け、事業者や滞留者等の安全を確保するために、有志の事業者等が協力して開設・運営する災害対策の拠点です。

現地本部訓練の目的

①現地本部の役割を知る

- ・事業者の情報交換の拠点
- ・地域の応急救護の情報拠点
- ・災害対応活動の支援拠点

②現地本部の立ち上げおよび運営の手順を習得する

- ・本部立ち上げ
- ・役割分担
- ・各種情報の収集、共有方法

③現地本部の運営マニュアルを検証する

- ・マニュアル、手順書、様式などを活用し、改善点を出し合い、改訂版に活かす

現地本部の活動

(西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



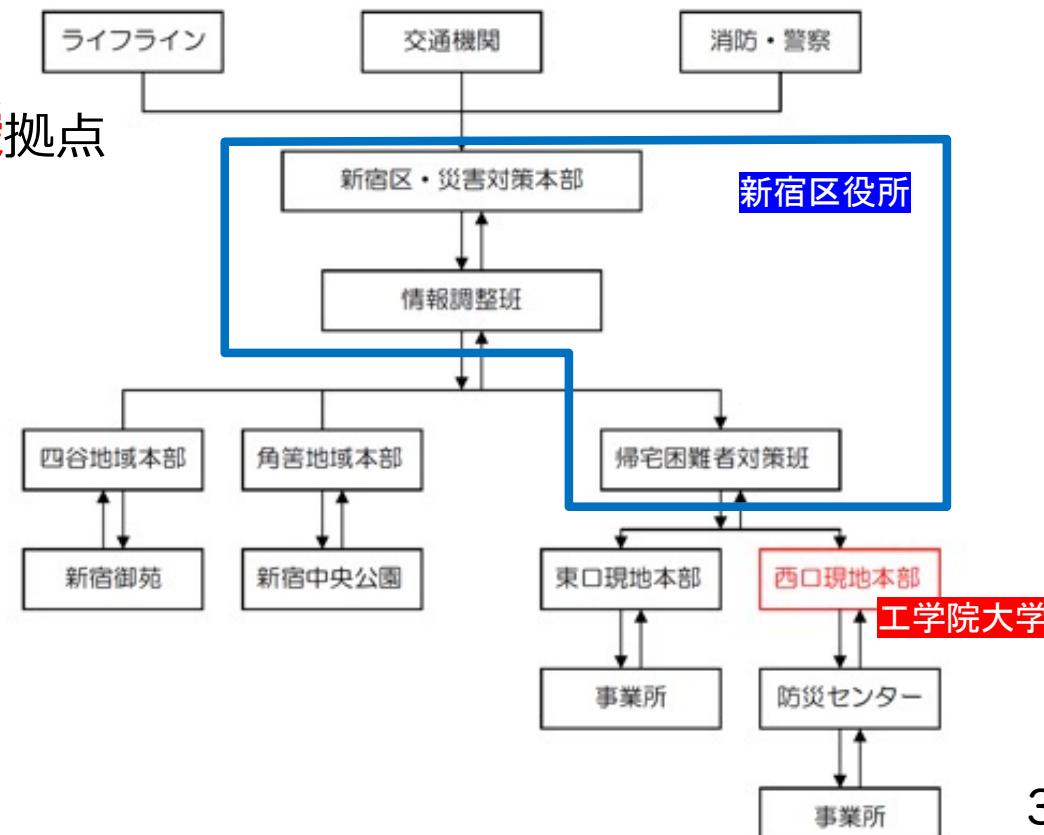
大規模災害時、公共交通機関の運行停止に伴い新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱する恐れがあります。

新宿駅周辺の地域の事業者が、必要な情報を共有し、連携して効率的な災害対応活動を行うとともに、滞留者へ適切な情報を提供することで、新宿駅周辺の地域全体の災害対応力を向上させることができます。

活動① 駅周辺**事業者**の**情報交換**の拠点

活動② 地域の**応急救護**の情報拠点

活動③ 地域の**災害対応活動の支援**拠点



現地本部の活動

(西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



設置基準

事業者が「現地本部」の設営が可能な時間内であり、かつ以下のいづれかの条件を満たす時

- ・ 23区内で震度5強以上の地震が起きた時
- ・ 地元自治体、事業者等から「現地本部」設置の要請があり、設置決定者※が必要と判断した時

※協議会座長、副座長

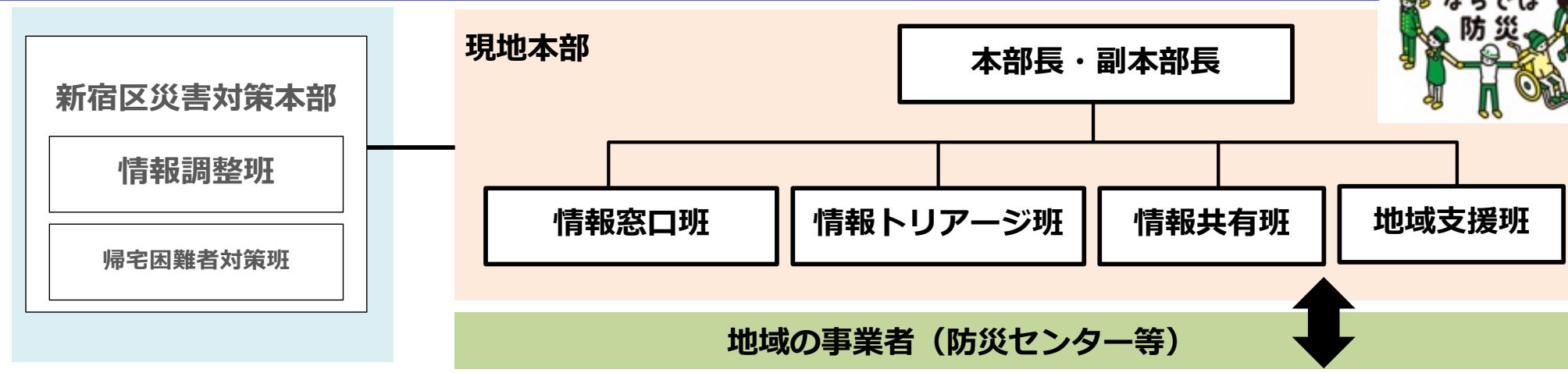
設置場所

工学院大学2階

拠点機能とその活動内容

拠点の機能	目的	情報	現地本部への情報の提供元	現地本部からの情報の提供元
駅周辺事業者の情報交換拠点	地域の滞留者を適切な場所へ誘導する	交通機関（運行情報） 駅周辺の被害状況	事業者、新宿区、東口現地本部 等	事業者、東口現地本部、滞留者
地域の応急救護の情報拠点	「自助」で対応できない傷病者を搬送する際に必要な情報を提供する	事業所での傷病者の対応状況 地域の応急救護所での対応状況 近隣の災害拠点病院の対応状況	事業者、地域の医療救護所、新宿区	事業者
地域の災害対応活動の支援拠点	専門家、ボランティア要員、資機材等の調整	専門家、ボランティア、色材の派遣（提供）可能数、必要数 等	事業者、地域の医療救護所、新宿区、東口現地本部	事業者 等

役割分担



役割

活動内容

本部長・副本部長

西口現地本部の**運営指揮**
(状況把握、意思決定、指示、外部との調整)

情報窓口班

各ビル、新宿区等から西口現地本部に寄せられる**各種情報の確認、交換** (緊急医療救護所、災対本部、一時滞在施設等)

情報トリアージ班

情報窓口班が受け付けた各種情報から、事業者や滞留者に**提供すべき情報の抽出**

情報共有班

情報トリアージ班と連携し、各種情報を地図やホワイトボード等にとりまとめ、**情報の可視化**をする。

地域支援班

各種ボランティア、物資等に関する**提供・派遣依頼情報の入手とマッチング**
専門家派遣先の決定

前提条件



地震発生日時：2021年12月16日（木）13時

震度：5強（区内の最大）

新宿駅周辺の被害状況：

- ・一部の地域で停電が発生したが数時間後に復旧。
- ・鉄道、バス等の公共交通機関は、安全点検のため運行停止。
- ・概ねの公共施設、建物に揺れによる大きな被害はないが、固定していない棚などが転倒・散乱し、室外機などの落下物も見られる。
- ・一部、耐震性がない建物は倒壊などの被害がある。
- ・新宿駅周辺には数万人規模の滞留者が発生し、駅前の混乱が予想される。

行動指針に基づく災害時の時系列イメージ



- 混乱を抑える
- 身の安全を確保する
- 行き場のある滞留者を待機させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）に誘導し、待機させる
- 行き場のある滞留者を引き続き滞在させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）から一時滞在施設に誘導し、滞在させる
- 滞留者を利用可能な交通機関で帰宅させる

13:00

(地震発生)
13:30 発災
(訓練開始)残留
退避

14:00

滞在

14:30

訓練終了

15:00

反省会(14:30~15:00)

帰宅

9

現地本部【工学院大学】

災害対策本部【区役所】

帰宅困難者一時滞在施設
【各事業所等(ダミー)】新宿中央公園
【中央公園】現地本部立ち上げ報告
本部状況の問合せ

災対本部設置

開設準備開始(民間協定)

鉄道運行停止情報の問合せ

★システム入力

鉄道運行情報提供

一時滞在施設(公共)開設情報提供

一時滞在施設(民間協定)への問合せ

一時滞在施設(民間協定)開設状況問合せ依頼

施設被害・開設状況報告(民間協定)

★システム入力

中央公園から一時滞在施設への移動に関する協議

滞留者状況報告

地域被害情報の問合せ

★システム入力

地域被害情報提供

医療対応の確認・報告

医療対応の情報共有(相談窓口等)

コロナ疑症状者等の医療対応の問合せ

物資、人手等の調整

物資、人手等の支援要請

専門家の派遣依頼

施設閉鎖依頼

鉄道再開情報の共有
施設閉鎖依頼

施設閉鎖依頼

施設閉鎖・滞留者帰宅開始

★システム入力

訓練終了

★システム入力

現地本部マニュアルとキット



新宿ルール

- 組織は組織で対応する（自助）
- 地域が連携して対応する（共助）
- 公的機関が地域を支える（公助）

新宿ルール実践のための行動指針

- むやみに移動しない
- 現地本部を中心に連携する
- 地域で傷病者に対応する

現地本部
マニュアル

一時滞在施設運営
マニュアル

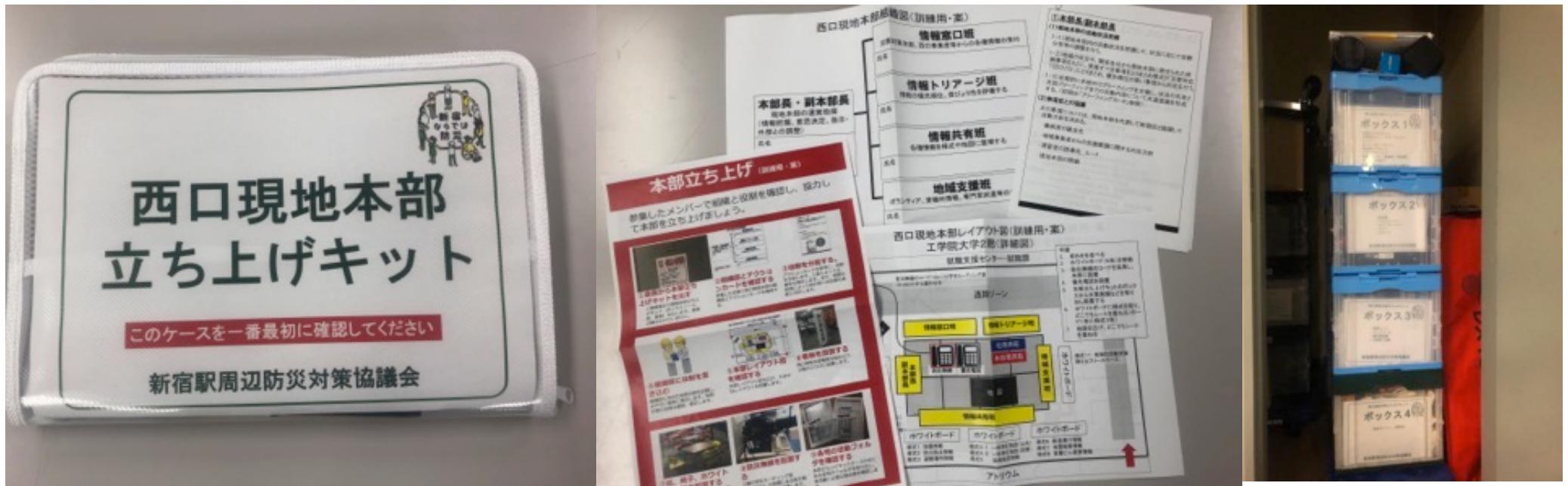
滞在者等誘導
マニュアル

現地本部立ち上げキット

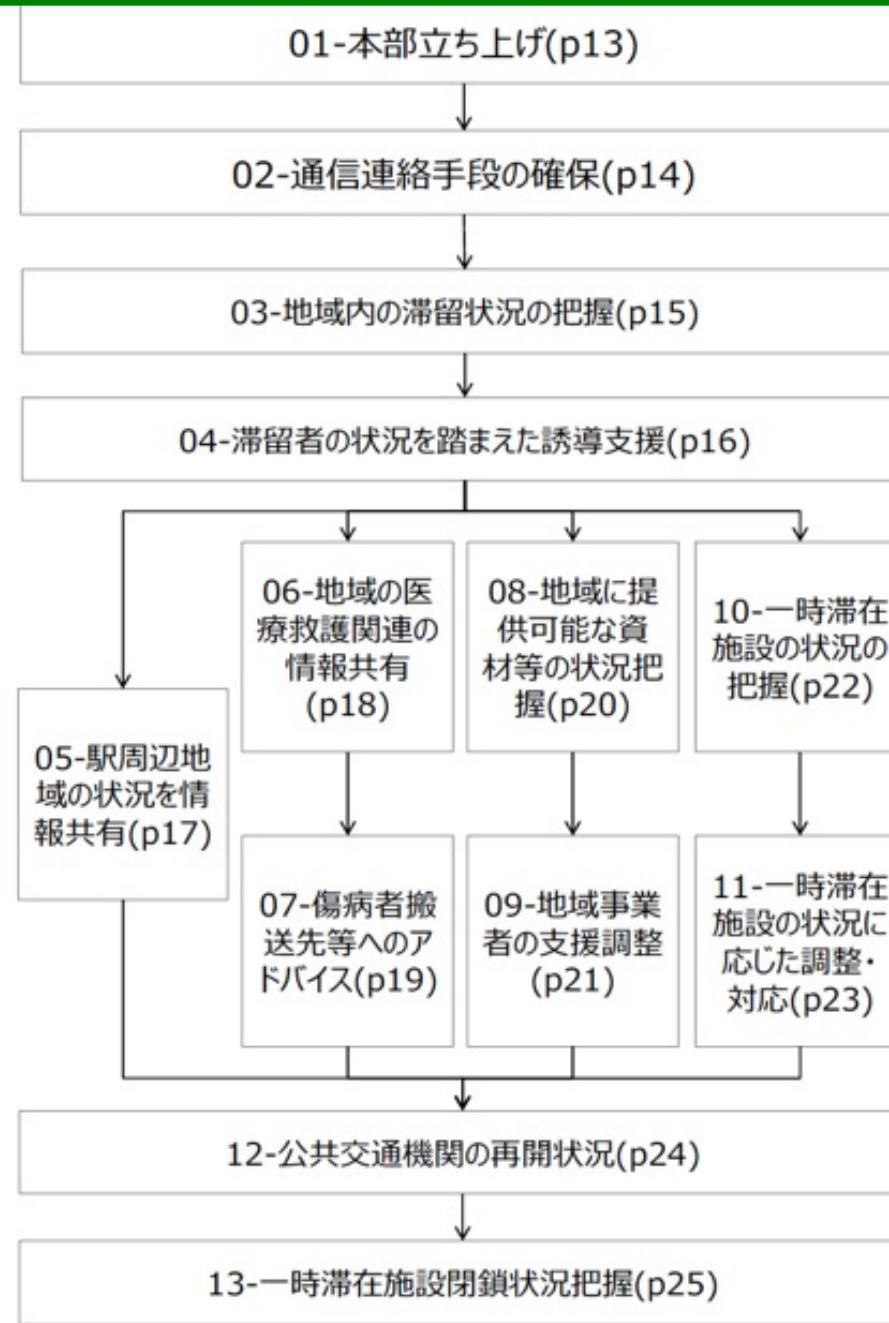
出典：新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画【第三次改定】平成29年3月（抜粋）

現地本部立ち上げキット

現地本部の立ち上げに必要な様式、資機材、マニュアルをまとめ、災害時に駆けつけた事業者で手分けして、効率的・効果的に活動できるようにしたキット。通常は、工学院大学2階の倉庫に保管している。



訓練の流れと対応する手順



手順書の例（現地本部立ち上げ手順）



本部立ち上げ (訓練用・案)

参考したメンバーで組織と役割を確認し、協力して本部を立ち上げましょう。

①倉庫から本部立ち上げキットを出す
2箇倉庫から現地本部立ち上げキット（ボックス1～4、筒、看板）を出します。倉庫の鍵はかけていません。

②組織図とアクションカードを確認する
参考した全員で西口現地本部の組織図とアクションカードを確認する。

③役割を分担する。
アクションカードを参考に、役割を分担します。人数によっては、兼任も検討します。また、時間の経過によって他の班への応援も柔軟に対応します。

④組織図に体制を書き込む
組織図に決めた役割分担を記録し、みやすい場所に掲示します。役割が変わった時は適宜、修正します。

⑤本部レイアウト図を確認する
本部レイアウト図を広げ、大まかなレイアウトを把握します。

⑥看板を設置する
西口現地本部看板を組み立て、2箇の入り口に設置します。

⑦机、椅子、ホワイトボード等を配置する
本部レイアウト図をもとに、机、椅子、ホワイトボード等を配置する。（裏面参照）

⑧防災無線を配置する
2箇の学生ミーティング室（A-0221）の窓際にある防災無線の電話機を本部に配置します。

⑨各班の活動フォルダを確認する
本部立ち上げキットケースの中にある各班のフォルダを取り出し、各活動に必要な様式類を確認します。

現地本部組織図(訓練用・案)

本日の講習会の最後に、
訓練当日の役割分担をさせ
ていただきます

本部長・副本部長

現地本部の運営指揮
(情報把握、意思決定、指示・
外部との調整)

氏名

※参集人数や状況に応じて兼任や
他班応援も適宜検討し、書き換えて
ください。

情報窓口班

災害対策本部、西口事業者等からの各種情報の受付

氏名

情報トリアージ班

情報の優先順位、信ぴょう性を評価する

氏名

情報共有班

各種情報を様式や地図に整理する

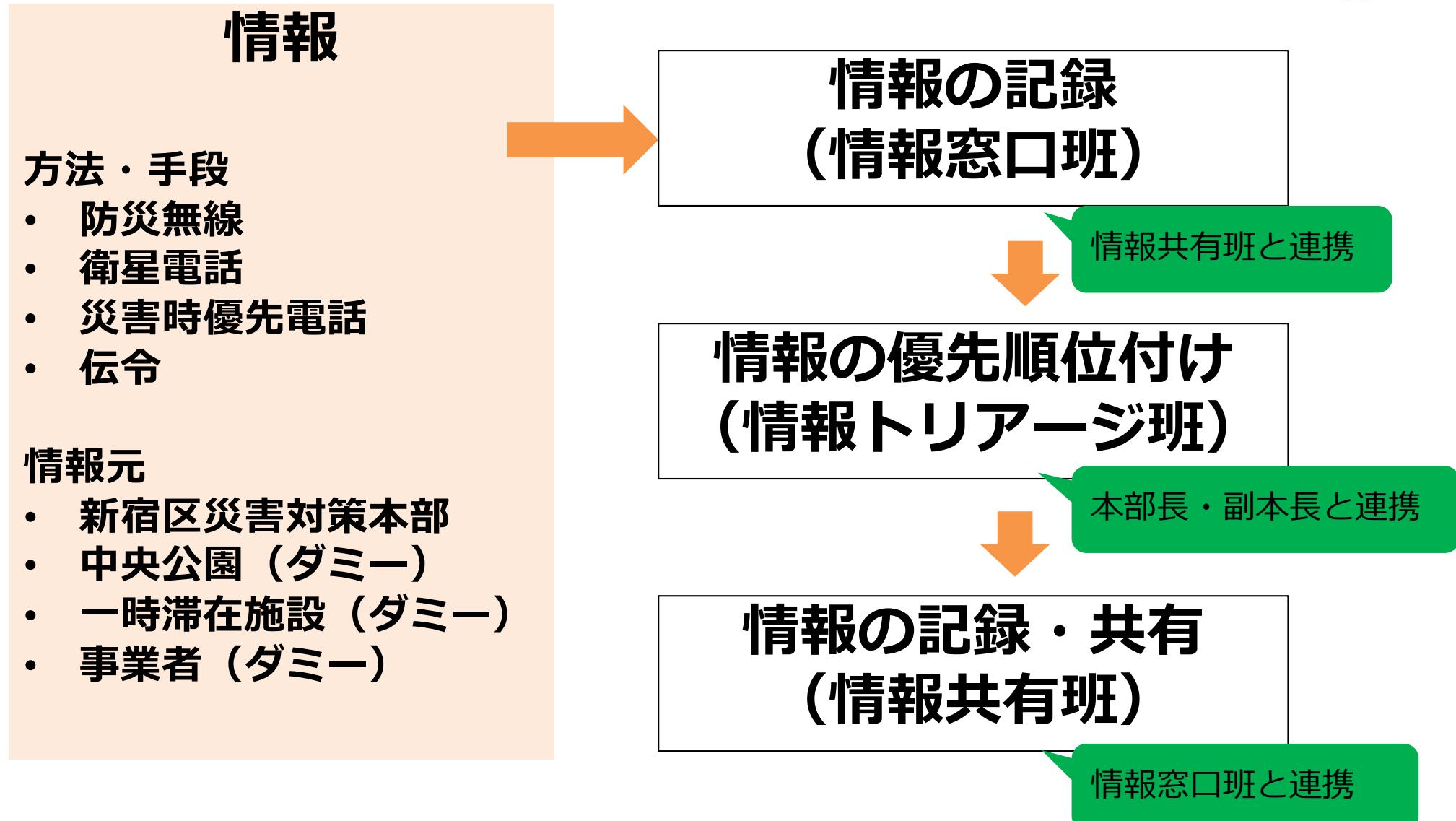
氏名

地域支援班

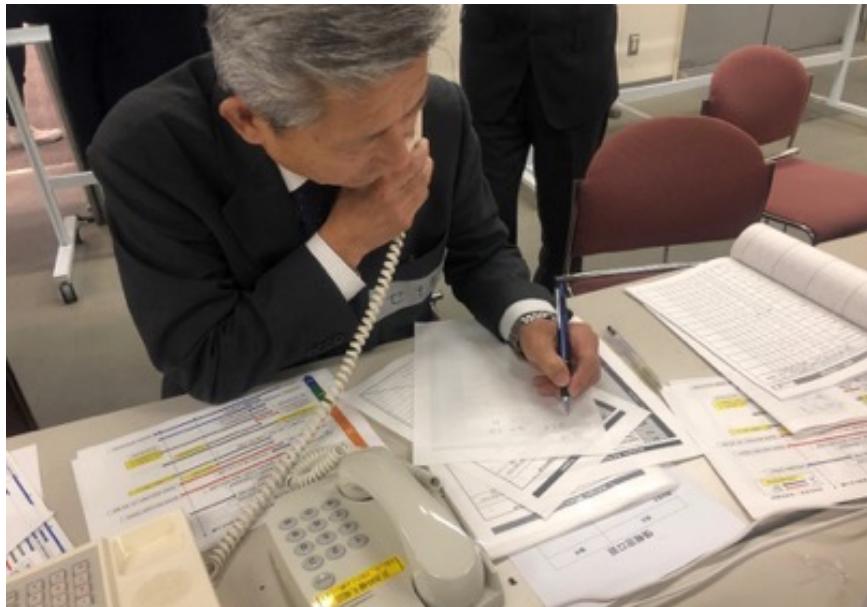
ボランティア、資機材情報、専門家派遣等のマッチング

氏名

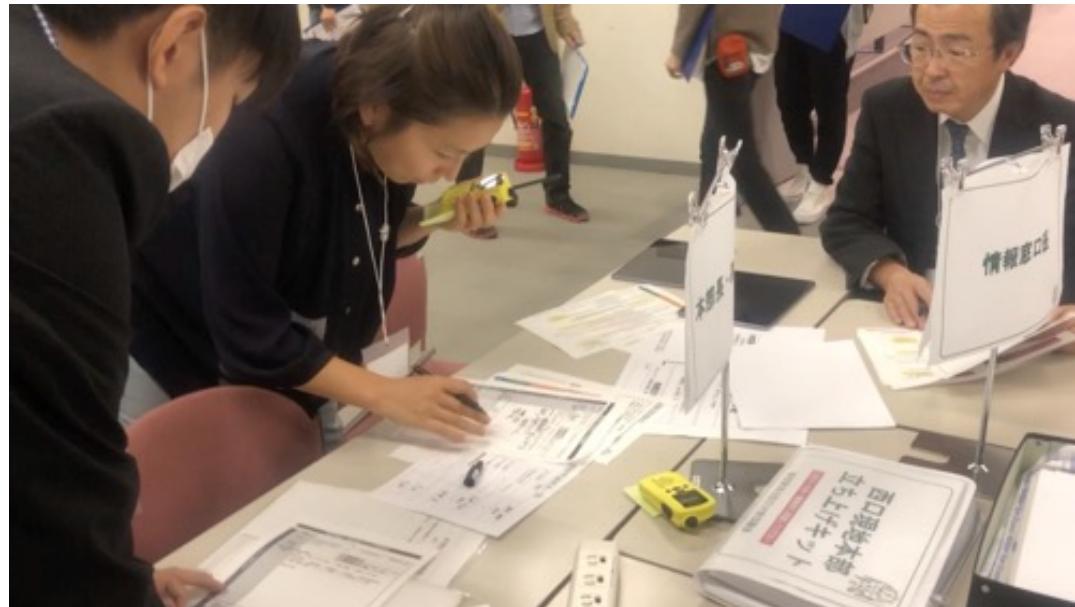
情報の流れ・取り扱い方



訓練の様子①



区災対本部、事業者等からの各種情報の受付
【情報窓口班】



情報の優先順位、信憑性の評価
【本部長と情報トリアージ班】



各種情報を様式や地図に整理【情報共有班】



訓練の様子②

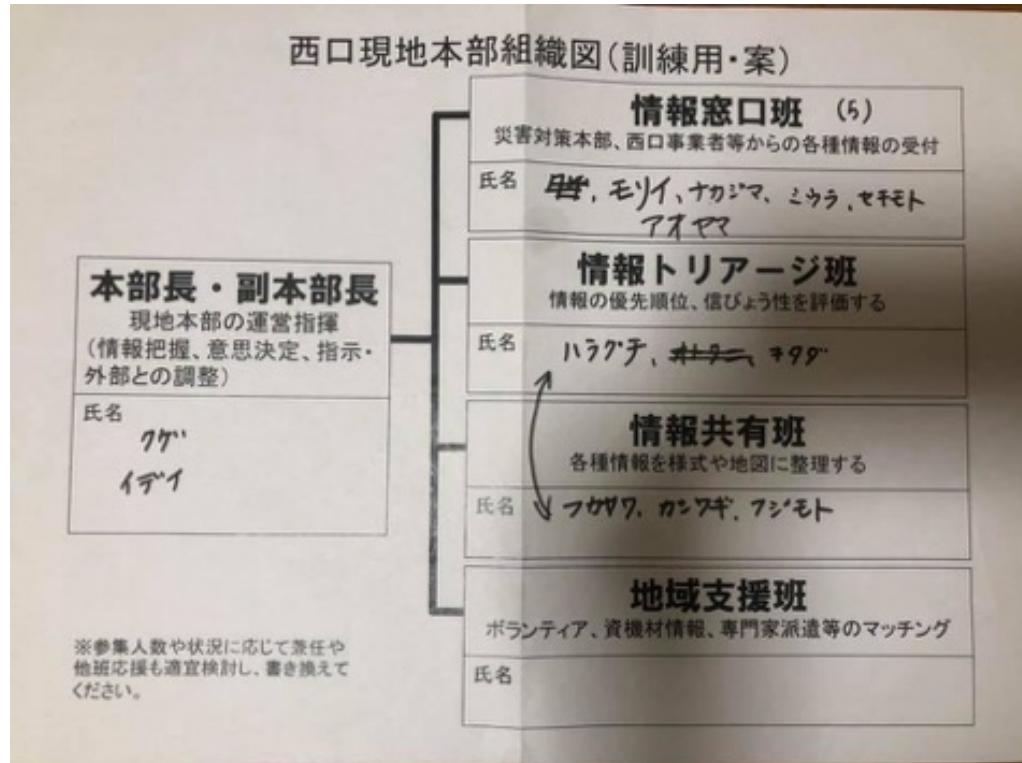


西口現地本部



一時滞在施設(ダミー)

アクションカードに基づく役割分担



①本部長/副本部長

(1)現地本部の活動状況把握

- 1-1) 現地本部内の活動状況を把握して、状況に応じて役割分担等の調整を行う。
- 1-2) 地域の状況や、関係各社から現地本部に寄せられた依頼事項をもとに、実施すべき事項をとりまとめ様式9「災害対応TODOリスト」にとりまとめ、優先順位の高い事項から対応を行う。
- 1-3) 定期的に本部内でブリーフィングを主催し、状況の共有と次回ブリーフィングまでの活動内容について共通認識を形成する。

②情報窓口班

(1)各事業者及びレポーターから報告を受ける。

地域内の各事業者からの連絡等及び現地本部が派遣したレポーターの情報を受け取る(必要に応じて報告を求める)。

(2)入手した情報をまとめ様式9-1

災害対応TODOリスト(その1) 現地本部訓練用(2019年11月8日)

No	実施すべきこと	担当	期限	対応状況	備考
1	参集者の中で役割分担を明確にする				
2	現地本部の立ち上げを災害対策本部に報告する				
3	鉄道の運行状況を災害対策本部に問い合わせする				
4	公共の一時滞在施設の開放・受け入れ状況を災害対策本部に問い合わせする				
5	一時滞在施設(民間協定)の開放・受け入れ状況を各ビル(工学院、新宿野村ビル、損保ジャパン)に問い合わせする				
6	一時滞在施設(民間協定)の開放・受け入れ状況をまとめ、災害対策本部に報告する				
7	一時滞在施設の開放・受け入れ状況を各ビルに問い合わせする				
8	一時滞在施設の開放・受け入れ状況をまとめ、災害対策本部に報告する				
9	一時滞在施設(公共、協定、民間)の開放情報をエリア災害対応支援システムに入力する				
10	中央公園から一時滞在施設への移動開始を災害対策本部と協議する				
11	地域の被災状況を災害対策本部に問い合わせする				
12	医療機関の開設状況を災害対策本部に問い合わせする				
13	鉄道の運行再開情報を災害対策本部に問い合わせする				
14	一時滞在施設の閉鎖のタイミングを災害対策本部と協議する				
15	一時滞在施設の閉鎖を各ビルに報告する				

アクションカードとは



- 災害時に現地本部にどれくらいの事業者が参集できるかは、発生の時間帯、被災状況、事業者の勤務状況などによって未知数です。
- 参集した事業者が協議会の訓練を経験しているとは限りません。
- どのような状況であっても、集まった事業者で協力して最善の現地本部活動ができる目的に、役割ごとに活動内容を示したカードが「アクションカード」です。

アクションカード

①本部長/副本部長

(1)現地本部の活動状況把握

1-1) 現地本部内の活動状況を把握して、状況に応じて役割分担等の調整を行う。

1-2) 地域の状況や、関係各社から現地本部に寄せられた依頼事項をもとに、実施すべき事項をとりまとめ様式9「災害対応TODOリスト」にとりまとめ、優先順位の高い事項から対応を行う。

1-3) 定期的に本部内でブリーフィングを主催し、状況の共有と次回ブリーフィングまでの活動内容について共通認識を形成する。(初回は「ブリーフィングカード」参照)

(2)新宿区との協議

次の事項については、現地本部を代表して新宿区と協議して活動方針を決める。

- ・傷病者の搬送先
- ・地域事業者からの支援要請に関する対応方針
- ・滞留者の誘導先、ルート
- ・現地本部の閉鎖

①本部長/副本部長【ブリーフィングカード】

ブリーフィングを行う

(必要あれば次回の時刻と場所を決定する)

I. 活動状況の共有

活動開示時に目的・方法・各自の活動内容など短時間に簡潔に伝える。活動中には適時時間をとって活動状況を共有する。

(初回はアクションカードを渡す/2回目以降は変更点を確認)

導入：自己紹介を行い、当面の活動方針の確認をする

状況：災害の

- ①種類
- ②発災時刻
- ③地域の被害状況（推定も）
- ④滞留者数(状況)
- ⑤当面の対応方針

地理：地図を準備する（出来ればグリット入）

- ①活動区域・警戒区域
- ②重要項目/重要拠点

目的：各班を順番に指名し、情報共有

- ①目的
- ②活動内容/状況
- ③当面の方針

II. 活動にあたっての留意事項の確認

Command & Control :

- ①すべての本部員は本部内で共有する
- ②すべての活動は行動指針に基づくものとする
- ③目的遂行のための本部内、関係機関の連携方法の確認

Safety : 休憩体制の説明/バックアップ体制

外出時の安全確保(備品、危険個所の確認)

Communication : 情報網の構築/確認

- ①伝達先担当者
- ②伝達方法
- ③伝達内容

Assessment : 共通様式の利用、記録の作成の確認

アクションカード

②情報窓口班

(1)各事業者及びレポーターから報告を受ける。

地域内の各事業者からの連絡等及び現地本部が派遣したレポーターの情報を受け取る(必要に応じて報告を求める)。

(2)入手した情報をメモにして情報トリアージ班に伝える。

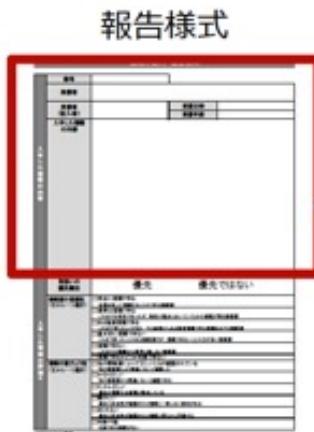
2-1)入手した情報を「現地本部内 報告様式」に記入して、情報トリアージ班へ渡す。

2-2)相談事項や急な対応を必要とする事項等は、本部長又は副本部長に相談する。

(3)地域への情報発信

3-1)地域から現地本部に連絡があった場合には、本部内で共有している情報を提供する。

3-2)現地本部で決定した事項について、関係者に連絡を行う。



③情報トリアージ班

[情報が少ない場合や、信憑性の高い情報のみを扱う場合には、情報窓口班が兼任する。]

(1)情報の入手

1-1)情報窓口班が現地本部内の報告様式にメモした情報を、様式に沿って評価する。

(2)情報の発信

2-1)情報の優先順位を評価する。

2-2)情報源の信頼性及び情報の信ぴょう性を評価する。

2-3)評価結果を踏まえて取捨選択・整理したうえで、情報共有班に伝達する。



アクションカード

③情報共有班

[地域の応急救護情報ホワイトボード担当者]

(1)情報の入手

1-1)情報トリアージ班から、地域の事業者の応急救護の状況や地域の応急救護所の活動状況、地域の災害拠点病院の活動状況に関する情報を入手する。

(2)情報の整理

2-1)地域の応急救護所の活動状況について整理する。時系列で状況を整理(ホワイトボード等を活用)

2-2)近隣の災害拠点病院の状況を整理する。時系列で状況を整理(ホワイトボード等を活用)

(3)応急救護支援情報の発信

3-1)地域の事業者からの連絡をもとに、地域の災害拠点病院や応急救護所へ搬送の案内等を行う。

④情報共有班

[GIS担当、地図担当、無線LAN担当、ネット担当]

(1)GIS情報の取り扱い

1-1)現地本部で共有された「駅周辺事業者の情報交換用ホワイトボード」等をもとに、GISに情報を入力する。

(2)白地図の活用した情報整理

2-1)情報トリアージ班と連携して、地図を活用した情報の整理集約を行う。

(3)無線LAN、ネット担当

3-1)本部長・副本部長、情報窓口班、情報トリアージ班と連携して、地域の事業者や滞留者へ提供すべき情報について検討・共有する。

アクションカード

⑤地域支援班

(1)提供可能なボランティア・資機材の情報入手

1-1)情報トリアージ班から、周辺の事業者等による「提供可能情報」を入手する。

1-2)入手した情報を、ボランティア(応急救護、その他)と資機材(応急救護関係、その他)別に整理する。

(2)提供/派遣依頼情報の入手

2-1)情報トリアージ班から、周辺の事業者等による「提供/派遣希望情報」を入手する。

2-2)入手した情報を、ボランティア(応急救護、その他)と資機材(応急救護関係、その他)別に整理する。

(3)専門家の派遣

3-1)現地本部に参集した専門家と、必要に応じて協議の上で現地本部が把握した情報をもとに、専門家の派遣先を決定する。(派遣先は区に報告する。)

(4)運営支援[マッチング]

4-1)(1)及び(2)の情報をもとに、ボランティアの派遣や資材の提供/貸与に関するマッチングを行う。

4-2)マッチング結果について当該事業者に連絡を行う。

各種様式（報告様式）

現地本部内 報告様式(2021年度訓練用)

入手した情報の内容	番号				
	発信者	<input type="checkbox"/> 新宿区災害対策本部 <input type="checkbox"/> 東口現地本部 <input type="checkbox"/> 新宿中央公園 <input type="checkbox"/> 地域事業所（高層ビル）：ビル名（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	受信者（記入者）		受信日時		
			受信手段	<input type="checkbox"/> 防災無線 <input type="checkbox"/> 伝令 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	入手した情報の内容	情報の種類 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 問い合わせ（照会） <input type="checkbox"/> 相談・協議 <input type="checkbox"/> 要請 <input type="checkbox"/> その他（ ） 情報の内容 <input type="checkbox"/> 本部体制 <input type="checkbox"/> 地震情報 <input type="checkbox"/> 避難場所 <input type="checkbox"/> 滞留者・一時滞在施設関係 <input type="checkbox"/> 医療・傷病者関係 <input type="checkbox"/> ライフライン関係 <input type="checkbox"/> ビル被害関係 <input type="checkbox"/> その他 情報の詳細			
	入手した情報の評価※	取扱いの優先順位	優先 優先ではない		
		情報源の信頼性 (右から一つ選択)	<input type="checkbox"/> 完全に信頼できる <input type="checkbox"/> 自信を持って信頼することのできる情報源 <input type="checkbox"/> 通常は信頼できる <input type="checkbox"/> これまでに信頼できるが、特定の場合においていくらかの嫌疑が残る情報源 <input type="checkbox"/> ある程度信頼できる <input type="checkbox"/> これまで使ったことがあり、その結果からある程度信頼できる信頼を経た情報源 <input type="checkbox"/> 基本的に信頼できない <input type="checkbox"/> これまで使ったことのある情報源だが、信頼できないことが多い情報源 <input type="checkbox"/> 信頼できない <input type="checkbox"/> これまでの実績から信用に値しない情報源 <input type="checkbox"/> 信頼できるかどうか判断できない		
		情報の信ぴょう性 (右から一つ選択)	<input type="checkbox"/> 他の情報源によって正しいことが確認されている <input type="checkbox"/> 別の情報源により間違ないと確認した <input type="checkbox"/> かなり正しい <input type="checkbox"/> 別の情報源から間違ないと確認できる <input type="checkbox"/> たぶん正しい <input type="checkbox"/> 過去の情報又は背景と整合している <input type="checkbox"/> 疑わしい <input type="checkbox"/> 過去に妥当性が確認された情報と一致しない傾向がある <input type="checkbox"/> ありえない <input type="checkbox"/> 過去に妥当性が確認された情報と明らかに矛盾する <input type="checkbox"/> 判断不能 <input type="checkbox"/> 信頼できる情報がない		

※IS022320準拠

各種様式（鉄道運行情報・地域被害情報）

取りまとめ様式6

鉄道運行情報

路線名		更新時刻		運行状況	備考	
		日時	時刻			
JR	山手線	JY		全線 一部		
	埼京線	JA		全線 一部		
	中央線(快速)	JC		全線 一部		
	中央・総武線 (各駅停車)	JB		全線 一部		
	小田急線	OH		全線 一部		
	京王線	KO		全線 一部		
	京王新線	KO		全線 一部		
	西武新宿線	SS		全線 一部		
	都営新宿線	S		全線 一部		
	大江戸線	E		全線 一部		
丸ノ内線	丸ノ内線	M		全線 一部		
	副都心線	F		全線 一部		

取りまとめ様式7

地域被害情報

枚

エリア	記載時刻	状況
新宿駅 (西口・南口)		
高層ビル街		
西口商店街 (西新宿1丁目界隈)		
西口地下街 (東西連絡通路、京王モール、小田急モール)		

各種様式（一時滞在施設（公共・民間））

取りまとめ様式4-1

一時滞在施設(公共) 枚

施設名	記入 (更新) 時刻	在館 者数	受入 可否	受入 可能 人數	火災 の 有無	即時使用 判定結果	インフラの状況 (×:停止 ○:利用可)					特記事項
							電気	ガス	水道	通信	トイレ	
1 淀橋市場		—	可能	300	—	—	—	—	—	—	—	
2 総合芸術高等学校		—	可能	200	—	—	—	—	—	—	—	
3 東京都庁第一本庁舎		—	可能	300	—	—	—	—	—	—	—	
4 東京都庁第二本庁舎		—	可能	300	—	—	—	—	—	—	—	
5 東京都議会議事堂		—	可能	500	—	—	—	—	—	—	—	
6 新宿都税事務所		—	可能	500	—	—	—	—	—	—	—	
7 消防博物館		—	可能	200	—	—	—	—	—	—	—	
8 戸山高等学校		—	可能	200	—	—	—	—	—	—	—	
9 新宿文化センター		—	可能	1,000	—	—	—	—	—	—	—	
10 区立四谷区民センター		—	可能	300	—	—	—	—	—	—	—	
11 区立角筈区民センター		—	可能	300	—	—	—	—	—	—	—	
12												
13												
14												
15												
小計												

取りまとめ様式4-2

一時滞在施設(民間) 枚

施設名	記入 (更新) 時刻	在館 者数	受入 可否	受入 可能 人數	火災 の 有無	即時使用 判定結果	インフラの状況 (×:停止 ○:利用可)					特記事項
							電気	ガス	水道	通信	トイレ	
1 新宿野村ビル		3000	可能	500	なし	可能	○	×	○	○	○	
2 損保ジャパン日本興亜本社ビル		2500	可能	500	なし	可能	○	×	○	○	○	
3 工学院大学		1500	可能	1,000	なし	可能	○	×	○	○	○	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
小計												

各種様式（高層ビル被害情報）

取りまとめ様式8

高層ビル被害情報

枚

記入 (更新) 時刻	在館 者数	受入 可否	受入 可能 人数	火災 の 有無	即時使用 判定結果	インフラの状況 (×:停止 ○:利用可)					特記事項
						電気	ガス	水道	通信	トイレ	
1 ビルA 相互住宅(新宿第一生命)	3,000	可能	一	なし	可能	○	×	○	○	×	
2 ビルB 新宿NSビル	2,500	可能	100	なし	可能	○	×	○	○	×	
3 ビルC 新宿モナリス	3,000	可能	200	なし	可能	○	×	○	○	×	
4 ビルD 新宿エルタワー	3,500	可能	150	なし	可能	○	×	○	○	×	
5 ビルE 新宿センタービル	4,000	可能	一	なし	可能	○	×	○	○	×	
6 ビルF 新宿住友	3,000	可能	180	なし	可能	○	×	○	○	×	
7 ビルG オークタワー	2,500	可能	150	なし	可能	○	×	○	○	×	
8 ビルH 住友セントラルパークビル	2,000	可能	一	なし	可能	○	×	○	○	×	

各種様式（情報共有・todoリスト）

取りまとめ様式10

西口現地本部情報（情報共有）

1 地震情報

発生日時： 震源地：

	都内最大震度	23区内最大震度	新宿最大震度
震度 (観測場)			

2 防災体制・拠点情報

拠点名	開設日時	場所	状況
新宿区灾害対策本部			
西口現地本部			
東口現地本部			

3 避難場所

拠点名	状況
新宿中央公園	
新宿御苑	

4 医療施設情報

施設名	種類	状況
東京医科大学病院	拠点病院	
大久保病院	拠点病院	

5 一時滞在施設情報

※リスト貼り付け

6 鉄道運行情報

※リスト貼り付け

取りまとめ様式9-1

災害対応TODOリスト（その1）

No	実施すべきこと	担当	期限	対応状況	備考
1	参集者の中で役割分担を明確にする		なし	随時見直	
2	現地本部の立ち上げを関係各拠点に連絡する		設置後速 やかに		
3	随時、現地本部の活動状況等を確認する		定期的に		
4	随時、活動状況を踏まえて各担当が取り組むべき事項を明確にする。		定期的に		
5	現地本部が入手した情報をもとに、現地本部が行うべき事項をTODOリスト（その2）に記載し進捗管理する。		随時		
6	駅周辺の状況を関係者間で共有する		随時		
7	地域の医療救護情報を提供する		随時		
8	地域の災対活動を支援する		随時		
9	避難場所への誘導を支援する		随時		
10	一時滞在施設への誘導を支援する		随時		一時滞在施 設開設後
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

連絡先一覧（訓練用）

組織	手段	番号、備考
現地本部	防災無線	
	災害時優先電話 (西口現地本部からの発信のみ)	
	トランシーバー	
新宿区災害対策本部	防災無線	
東口現地本部	防災無線（ダミー）	
新宿中央公園 (新宿区災害対策本部地域活動班)	防災無線（ダミー）	
高層ビル	衛星携帯電話（ダミー）	
高層ビル（A～N）	トランシーバー（ダミー）	
高層ビル（O～AB）	トランシーバー（ダミー）	

(例) 高層ビルの防災担当者からの問い合わせ

当ビルはビルの来館者を中心に、すでに相当
数の滞留者を留めています。

新しい滞留者が続々とやってきますが、これ
以上の対応はできなさそうです。

どこの施設を案内すればいいですか？

対応の例

- 公共の一時滞在施設の受け入れ状況を災害対策本部に問い合わせる
- 公共、民間のシステムを適宜、更新しているので閲覧してもらうよ
うにする など

現地本部組織図（記入用）

本部長・副本部長

現地本部の運営指揮
(情報把握、意思決定、指示・
外部との調整)

氏名

鈴木

※参集人数や状況に応じて兼任や
他班応援も適宜検討し、書き換えて
ください。

情報窓口班

災害対策本部、西口事業者等からの各種情報の受付

氏名

鈴木

情報トリアージ班

情報の優先順位、信ぴょう性を評価する

氏名

鈴木

情報共有班

各種情報を様式や地図に整理する

氏名

鈴木

地域支援班

ボランティア、資機材情報、専門家派遣等のマッチング

氏名

鈴木

お疲れさまでした
訓練当日もよろしくお願いいいたします

